



「住民の知恵と創意工夫による本渡づくりを！」

天草市が発足して10年目に入りました。人口は、相変わらず減少の一途をたどっています。昨年5月の増田レポートは、現状を傍観し、何も対策を講じなかった場合の将来予測であり、私たちに対する警鐘と受け止めなければなりません。しかし、消滅すると言われた地域の一部では、若者を中心とした田園回帰、ふるさと回帰といった、その受け皿となる地域づくりが進められています。

鹿児島県鹿屋市の柳谷集落（やねだん）は、人口300人程度の電車やバスも通らない小さな集落ですが、自主財源確保のために、土着菌やイモ焼酎づくりなどで年間600万～650万円を売り上げ、これにより集落の困りごとを解決しており、人口も増えています。また、日本海に浮かぶ島・島根県海士町（人口約2,400人）は、役場は住民総合サービス会社という町長の改革によって、都会の勝ち組の若者が移住し、その数は平成24年度末現在で、246世帯・361人となっています。島前地域では、唯一の県立高校が廃校寸前にまでなっていました。島外の子どもたちを呼び込むしか存続の道はないと考え、島前高校魅力化プロジェクトに取り組み、平成26年度には入

学生51人のうち31人が東京など島外からの生徒で、全学年2クラスの編成になりました。プロデューサーは、キャリアを持つ現役世代の1ターン、それに地域の人々の熱意が地域を変えていく。島が生き残るとは何か。それは島で人々が暮らし続けることで、そのためにさまざまなことに挑戦されています。

このように、住民みんなで知恵を絞り、行政と連携して、悲観的な予測を裏切る地域づくりを進めていこうではありませんか。人間や地域には無限の可能性がります。地域振興は国に頼まれてやるものではなく、白いキャンバスに自由に絵を描き、私たちの手でまちの未来を決め、自ら責任を負う。失敗してもその経験を地域で共有し、次の礎にする。地域づくりとはこうして息長く続けていくものだろうと思います。

私たちも、皆様の手で策定いただいた「本渡地域まちづくり計画」（2～3ページ参照）が実を結ぶように、どんなに小さなことからでも、一つ一つ着実に実践していきましょう。

これからも、皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol.14

平成27(2015)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ…………… 1
- 本渡地域まちづくり計画の概要紹介…………… 2～3
- 本渡まちづくり協議会事業報告…………… 4～5
- 各地区の話題…………… 6～7
- おしらせなど…………… 8



掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力

～本渡地域まちづくり計画を策定～

本渡まちづくり審議会（天草市の諮問機関。本渡まちづくり協議会委員で構成）と天草市では、「本渡地域まちづくり計画」を策定しました。

この計画は、本渡地域の目ざす姿を展望し、地域住民や団体、行政などが一体となって取り組むべきまちづくりの方策などを定めたものです。計画期間は平成27年度から同30年度までの4年間。

計画の策定にあたっては、昨年8月、同審議会が天草市から計画策定についての諮問を受け協議をスタート。住民の皆さんのご意見などを十分に取り入れた計画とするため、本渡地域の10地区振興会の役員・区長を対象にアンケート調査や意見交換会を実施したほか、各地区や公共的団体の代表者100人にご参加いただき、5回のワークショップを実施するなどしながら検討を重ねてきました。その後、3月23日に同審議会が市に答申書を提出。この答申を基に計画を策定しました。今回は、本渡地域まちづくり計画の概要についてご紹介します。

地域の現状・課題

本渡地域においては、急速な人口減少や地域経済の疲弊、さらには雇用機会の不足や少子高齢化への対応など、多くの課題を抱えています。

このような現状を背景として、生きいきとした個性あるまち本渡づくりを推進するにあたり、5つの視点における課題を次のとおりまとめました。

〔産業経済の視点〕

- 地域産業の活性化
- 第1次産業の経営基盤の強化
- 雇用機会の創出

〔観光・文化の視点〕

- 地域資源の利活用
- 地域資源を学ぶ

〔地域振興・教育の視点〕

- コミュニティ活動の活性化
- コミュニティリーダーの発掘育成
- 高等教育機関の拡充



▲ワークショップでは、活発なグループ討議が行われました

〔保健・医療・福祉の視点〕

- 高齢者福祉の充実
- 子育て・親の学び・親育ち支援の充実

〔生活環境・防災防災の視点〕

- 環境美化活動の充実
- 自主防災能力の強化
- 自主防災能力の強化

めざす地域の姿

「掘り起こそう本渡の宝
伝えよう本渡の魅力」

地域住民の1人ひとりが主役となり、できることから始め、

本渡地域の宝を掘り起し、磨き上げ、その魅力を伝える、そのよくなまちづくりの基本理念を「掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力」とし、生きいきとした個性あるまち本渡づくりを推進します。

まちづくりの方策

本渡地域における各種課題の解決を図り、まちづくりの基本理念を実現するため、各視点の目標と方策を次のとおり定めます。

1 活気溢れる産業興し

〔産業経済の視点〕

本渡地域の発展を支えるためには、活気あふれる産業をおこすことが重要になります。地域の特性を活かした魅力ある産業の活性化を図り、新たな雇用機会の創出に寄与します。

- 地域産物のブランド化
- 地域産物の情報発信・PR強化
- 地域産物を用いた特産品開発
- 第1次産業従事者の高齢化・担い手不足の解消
- 有害鳥獣の防除・駆除
- 雇用機会の創出

2 旅する宝島

くほつとするおもてなしの島

〔観光・文化の視点〕

本渡地域は、美しい自然、観光資源、文化資源、人的資源など、多くの地域資源に恵まれています。多くの地域資源を活かした魅力ある観光・文化の振興を図り、さらなる交流人口の増大に寄与します。

- 廃校・耕作放棄地の利活用
- 人的資源の利活用
- 地域資源の情報発信・PR強化
- 民泊の充実
- 体験型ツーリズムの推進
- 地域資源を学ぶ

3 魅力ある人を育み

人がつながるまちづくり

〔地域振興・教育の視点〕

本渡地域のまちづくりを推進するためには、地域住民が主体となった、継続的な取り組みが重要となります。いつまでも住み続けたいと思えるまちを、地域住民自らの手で築き上げていきます。

- コミュニティ活動への参加促進
- コミュニティ事業の見直し・集約
- 廃校・空店舗の利活用
- コミュニティの情報発信・PR

4 ふれ合い支え合い

笑顔の輪をつなぐまち

〔保健・医療・福祉の視点〕

本渡地域においても、人口減少や少子高齢化が急速に進んでいます。老若男女、すべての地域住民が、安心して笑顔で健康的に暮らせるよう、主に高齢者福祉と子育て支援の充実を図ります。

- 高齢者と子どもの交流の場の創設
- 高齢者サロン・サークル等の充実
- 高齢者のスポーツイベント・教室等の充実
- 学生ボランティア等の高齢者支援
- 子育て支援の情報発信・PR強化
- 親の学び・親育ち支援リーダーの発掘・育成

5 花いっぱい

笑顔いっぱい安心なまち

〔生活環境・防災防災の視点〕

本渡地域の美しい自然景観を後世に引き継ぐため、環境美化活動の充実を図ります。また、

自らの生命を守るため、地域住民の防災意識の高揚を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

- 花いっぱい運動の充実
- ゴミ出しマナー・意識の高揚
- 清掃ボランティア活動の推進
- 自主防災組織の設置・見直し
- 地域住民の防災意識の高揚
- 自主防災能力の強化

今後は、この計画に基づき、詳細の事業内容などを検討・決定します。その後、本渡まちづくり協議会において計画の実行を進め、本渡まちづくり審議会を進行管理や取り組みの見直しなどを行いながら、計画の確実な推進を図っていきます。



▲中川竹治会長から中村五木市長に答申書が手渡されました

平成26年度 事業報告

本渡まちづくり協議会では、平成26年度も『地域づくりは“人”づくり』をテーマに、地域を担う人材の育成や地域の活性化に向けて、「まちづくり研修事業」や「人材育成事業」などを実施しました。

まちづくり研修事業

地域の特色を生かした活動を展開している団体や地域などの取り組みを学び、まちづくり活動の参考にしてみよう。ため、本渡地域以外の地区振興会と交流する「市内研修」と、市外の先進的な取り組みなどについて学ぶ「市外研修」を実施しました。

市内研修では、新台地区（河浦）、大多尾地区（新和）、棚底地区（倉岳）の3つの地区振興会を訪問。それぞれの事業について説明を受けたり、地域活性化に向けての活発な意見



▲市内研修・棚底地区での史跡巡り

交換が行われたりしました。このほか、棚底地区では史跡巡りやめいどサロンの体験も行われ、参加者は「おもしろい取り組みとして、とても参考になった」と話されていました。

市外研修では、阿蘇市と下益城郡美里町を訪問。阿蘇市では、「観光地域づくり」をテーマに、阿蘇地域振興デザインセンターの石松昭信氏による講演や、商品や景観の魅力向上により活性化を図っている門前町商店街の視察などを実施しました。

美里町では、フットパス協会の濱田孝正氏からフットパ



▲市外研修・阿蘇市での研修

スの概要や特徴などについて説明していただいた後、コースの一つを実際に歩くなどしてフットパスの体験をしました。参加者は「阿蘇市や美里町は、行政に頼らないまちづくりに取り組んでおられました。工夫を凝らしながら、自分たちのまちをなんとかしようという強い気遣いを感じました」と話されていました。

人材育成事業

まちづくりを推進する人材の育成などを図るため、県内の先進地の取り組みなどを

定ポイントなどを紹介。引き続き行われた意見交換では、委員から計画策定についてのさまざまな質問が出されたり、長与南地区コミュニティ運営協議会の役員からも、本市の住民自治組織などについてのお尋ねをされたりするなど、活発な意見交換が行われていま

組みの参考としていただくことを目的に「本渡まちづくり発表会」を実施しました。発表会では、本渡地域まちづくり計画の概要について説明した後、佐伊津・宮地岳・下浦・本町・本渡南の5つの地区振興会が、それぞれの特徴的な事業や自慢の取り組みなどを発表。最後に、天草市の川崎昌光・地域振興部長が「今回

の発表会では、子どもに関わる取り組みが多く、子どもを育てやすいまちをつくるために、地域でなんとかしなければという思いが伝わってきた。市内のほかの地区振興会にも事業の紹介をしていただき、各地区の取り組みを自慢し合っ



▲本渡まちづくり発表会



▲人材育成事業・長与町での研修

本渡まちづくり発表会

本渡地域のまちづくりのさらなる推進と各地区のより一層の活性化を図るとともに、地域の課題解決のためのアイデア創出や各地区での取り

■各事業の実績

〔まちづくり研修事業・市内研修〕

研修先	新合地区振興会(河浦)	実施日	平成26年8月6日
内容	地区振興会事業などの説明、意見交換	参加者数	18人

研修先	大多尾地区振興会(新和)	実施日	平成26年10月21日
内容	地区振興会事業などの説明、意見交換	参加者数	18人

研修先	棚底地区振興会(倉岳)	実施日	平成26年11月12日
内容	地区振興会事業などの説明、意見交換、史跡巡り、めいどサロン体験	参加者数	26人

〔まちづくり研修事業・市外研修〕

研修先	阿蘇市・下益城郡美里町	実施日	平成27年2月25日～26日
内容	阿蘇市：観光地域づくり講演、門前町商店街の視察など 美里町：フットパスの説明・体験	参加者数	20人

〔人材育成事業〕

研修先	長崎県佐世保市・長与町	実施日	平成26年9月25日～26日
内容	佐世保市：市民との協働による観光振興の取り組みなど 長与町：コミュニティ運営協議会の活動説明、まちづくり計画策定など	参加者数	15人

〔本渡まちづくり発表会〕

実施日	平成27年3月19日	場所	天草市民センター大会議室
内容	本渡地域まちづくり計画の概要説明 各地区振興会の取り組み紹介 ①佐伊津「まちを美しく！佐伊津ピカピカ大作戦！」 ②宮地岳「宮地岳かかし作り」の取り組みについて ③下浦「地域全体で子どもを育てる」 ④本町「山学校川学校・寺子屋体験」 ⑤本渡南「子どもたちの交流活動」	参加者数	142人



▲人材育成事業・佐世保でのまち歩き



▶中学生からおばあちゃんに
お弁当を手渡しました

ゆうあい訪問を実施しました!

志柿地区振興会 会長 松本 明博

2月22日、ゆうあい訪問を実施しました。これは、
ひとり暮らし等のお宅を訪問する、地域福祉ネットワーク
事業です。日ごろの悩みや心配事などないか、地元の小・
中学生と一軒一軒訪問。その際、地域の女性が作ったお弁
当をいっしょにお配りします。皆さん、玄関を開けて待つて
いてくれたり、お菓子などを準備してくれたり、とても
心温まる事業です。これからもみんなが安心して暮らせる住みよ
いまちを目ざして、継続していきたいと思ひます。

“櫨”を生かした取り組みを推進!

梶宇土地区振興会 会長 赤石 良一

視察研修を1月31日～2月1日に福岡県で実施しました。
今回は、櫨の復活活動をされている久留米市の「ちくご松
山櫨復活委員会」の取り組みを視察。同委員会は、櫨の木
の保存に尽力され、新たな櫨の活用にも取り組まれています。
また、みやま市の荒木製蠟工場では、櫨の実から蠟を取り出す工程を見学。蠟燭の材料だけでなく、
化粧品や医療品などにも利用されており、外国にも
輸出されています。梶宇土地区でも、櫨を生かした
取り組みを推進していきます。



▶櫨燭(はせろう)キャンドル作り

「宮地岳かかし村」開村!

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好

旧宮地岳小学校に眠っている“かかしたち”の出番がやっ
てきました。今年も3月29日から、宮地岳地区の豆木場交
差点一帯に、春の風物「かかし村」が開村しています。今
年のテーマは運動会、まつりなどと盛りだくさんです。
約220体の個性豊かな“かかし”が皆さんのお越しをお
待ちしています。春の1日、「宮地岳かかし村」に心を
癒されにお出かけください。なお、かかしの展示期間
は、5月7日ごろまでを予定しています。



◀昨年の「かかし村・授業風景」から



◀おばあちゃん、
いつまでも元気でね!

おじいちゃん・おばあちゃん、 いつまでもおたっしやで!

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕

昨年12月21日に2人暮らしの高齢者へ、1月18日に
1人暮らしの高齢者へ、まごころ弁当の配達を行いました。
小・中学生のメッセージカードを添えた、婦人会員お
手製の弁当を手に、同会員と子どもたちが民生委員と一軒一
軒訪問。高齢者の皆さんは、うれしそうにお弁当を受け
取られていました。この取り組みは、高齢者の皆さんも毎年楽
しみにされており、子どもたちとの交流を深めるためにも、今
後も継続していきたいと思ひます。

大盛況!「亀場ふるさと文化祭」

亀場地区振興会 会長 船元 聖代

毎年恒例の夏祭り^{なつまつり}と文化祭を統合した「ふるさと
文化祭」を昨年11月22日・23日に開催し、約
1,500人の皆さんに参加いただきました。22日
には、小・中学生や自主クラブ会員の書道や絵画
などの展示を亀場地区コミュニティセンターで
実施。翌23日には、亀場運動広場でステージ発表
会やゲーム・スポーツコーナーなどを行い、大盛
況のうちに終わることができました。協賛いた
だいた地元企業や商店、関係者の皆様に感謝してい
ます。



▲亀川保育園の園児が天草太鼓を披露!

各地区 の話題

「矢筈岳さわやか登山」のご紹介

本町地区振興会 会長 鶴田 正人

「矢筈岳さわやか登山」は、本町の名峰“矢筈
岳”(標高476m)に登る催しとして平成12年に開
始し、平成26年に15回記念大会を開催しました。
当初、参加者は100人足らずでしたが、近年は
200人を超える参加があります。コースは、アス
ファルト道路ではなく、未舗装の林道や里道を利用
しており、参加者からは好評です。山頂には
250年前に建てられた石柱造りのお堂があり、矢
筈岳観音様が祀られています。皆さんも「矢筈岳
さわやか登山」にぜひおいでください。



▲矢筈岳からの風光明媚な眺望

広瀬川の魅力アップに向けて!

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

今釜区では、ツツジが咲き誇る広瀬川の景観をさらに良くし
ようと2月28日、広瀬川沿い(同区側)のツツジ植樹帯から
上流と下流に延長する区間などに、ツツジの苗木210本を植
樹しました。この作業には、区役員や青壮年会員など約20
人が参加。冷たい風が吹きつける中、鍬を使って土手に
穴を掘り、苗木を1本1本丁寧に植え付けていました。
なお、対岸の広瀬区も昨年2月に30本の苗木を植
樹。今後、広瀬川の魅力がさらに高まっていくと思
ひます。



▶ツツジの苗木を植樹する
今釜区民の皆さん



▶お母さんから料理の
手ほどきを受ける子どもたち

「親子料理教室」を開催!

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

親子のふれあいや食育について考える機会を設けるこ
とができれば、「親子料理教室」を開催しています。昨年
11月と1月の2回実施しましたが、いずれも食生活改
善推進委員さんやお母さんたちに手ほどきを受けながら、
和気あいあいとした雰囲気の中、料理づくりを楽しんでいま
した。参加した子どもたちからは「とっても楽しかった」
「家でも作るぞ〜」という声も聞かれました。成長する姿を見
ることができ、うれしいかぎりです。



◀伊賀倉権現古塔群での
説明のようす

楠浦のよかところを探訪

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

楠浦の文化財や名所旧跡を探訪する「楠浦よかところ
タンブラリー大会」を1月11日に開催しました。これは、
地元の人たちに歴史や文化を再発見してもらおうと同時
に、地区外の人たちにも楠浦のいいところを体感してもら
おうと毎年実施しており、今年で5回目。今回は、151人の皆さん
が参加し、楠浦よかところ案内の説明を聞きながら、楠浦の豊
かな自然や歴史・文化に触れ、感動していました。ゴール後、
参加者には郷土料理「だご汁」で体を温めていただきました。

心豊かで健やかな子どもたちに!

下浦地区振興会 会長 富安 英猛

月・火・金曜日の午後3時半から同4時半まで「放課後子
ども教室」を実施しています。これは、本渡東小学校の
1・2年生を対象に行っている事業で、今年で3年目。子
どもたちは学校終了後、コミュニティセンターで3~4
人の教室活動サポーター(元教員等10人)の指導のもと
30分勉強して、残り30分は遊技などを楽しんでいます。
平成26年度から、新たに英語学習を取り入れ、子
どもたちにより一層意義のある時間を過ごしてほしいと思
ひます。



◀クリスマスにはサンタさんも登場。
子どもたちも大喜び!

ほんどのいま

平成27年3月1日現在
(H26.9.1との比較)

【本渡南】	男	4,274人	(+ 30)
	女	4,918人	(+ 18)
	計	9,192人	(+ 48)
	世帯数	3,983	(+ 8)
	高齢化率	29.3%	
【本渡北】	男	5,263人	(+ 61)
	女	5,785人	(+ 37)
	計	11,048人	(+ 98)
	世帯数	4,635	(+ 26)
	高齢化率	21.9%	
【亀場】	男	2,011人	(- 18)
	女	2,329人	(- 27)
	計	4,340人	(- 45)
	世帯数	1,750	(- 9)
	高齢化率	22.2%	
【伊宇土】	男	349人	(- 8)
	女	349人	(- 5)
	計	698人	(- 13)
	世帯数	271	(0)
	高齢化率	39.5%	
【志柿】	男	1,425人	(- 10)
	女	1,662人	(- 2)
	計	3,087人	(- 12)
	世帯数	1,260	(- 6)
	高齢化率	28.1%	
【下浦】	男	878人	(+ 4)
	女	986人	(+ 9)
	計	1,864人	(+ 13)
	世帯数	774	(+ 13)
	高齢化率	41.0%	
【楠浦】	男	1,181人	(- 15)
	女	1,350人	(- 12)
	計	2,531人	(- 27)
	世帯数	1,015	(- 3)
	高齢化率	33.0%	
【本町】	男	904人	(+ 9)
	女	982人	(- 9)
	計	1,886人	(0)
	世帯数	848	(- 2)
	高齢化率	34.1%	
【佐伊津】	男	1,583人	(- 2)
	女	1,796人	(- 21)
	計	3,379人	(- 23)
	世帯数	1,421	(- 15)
	高齢化率	32.9%	
【宮地岳】	男	288人	(- 2)
	女	285人	(- 7)
	計	573人	(- 9)
	世帯数	259	(- 2)
	高齢化率	45.4%	
【合計】	男	18,156人	(+ 49)
	女	20,442人	(- 19)
	計	38,598人	(+ 30)
	世帯数	16,216	(+ 10)
	高齢化率	28.1%	

宮地岳地区振興会が「天草市まちづくり大賞」を受賞！

天草市まちづくり・地域づくり表彰式が昨年11月28日、天草市民センターで行われ、宮地岳地区振興会が最高賞の「天草市まちづくり大賞」を受賞しました。

これは、各まちづくり協議会の会長でつくる天草市まちづくり協議会連絡会が、地域づくりにがんばっている団体を表彰しているもので5回目の実施。

今回の受賞は、数多くのかかしを展示する「かかし村」や表情豊かな「かかしづくり教室」の開催、「かかしの唄」づくりなど、「かかし」を生かしたまちづくりに取り組み、地域の魅力向上や交流人口の増加、地域住民の交流促進などを図られていることが高く評価されました。

宮地岳地区振興会の皆さん、大変おめでとうございます。



「宮地岳かかし村」開村中！

現在、宮地岳地区振興会が取り組む「宮地岳かかし村」が開村しています（5月7日ごろまで）。今回は、個性豊かな約220体の“かかし”たちが展示されています。場所は、本渡市街地から牛深方面に向かう国道266号の豆木場交差点一帯です。皆さんも、ぜひご覧ください（6ページに関連記事）。



市まちづくり支援課が「ポルト」に移転！

本渡まちづくり協議会の事務局を務めている市まちづくり支援課が、今年1月に天草宝島国際交流会館ポルトの2階へ移転しました。同課では、まちづくり全般の業務や交通安全・防犯の事務などを行っています。また、本渡地域の市政に関する要望・相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。

編集後記

▼娘が小学校を卒業し、晴れて中学生となります。以前は「おとー」と言ってはベタベタしてくれた娘も、今では後ろ姿を見る方が多くなったことに少し寂しさを感じています。しかし、そのたくましくなった背中が成長した証だと、自分に言い聞かせる今日このごろです(涙)。

▼先日、まちづくり協議会の市外研修で、美里町のフットパスを体験しました！歩くことで見えてくる地域ならではの風景や、地元の人との温かなふれあい。皆さんの地区にもすばらしい風景はたくさんあると思うし、なにより、気さくで心温かい人たちがたくさんいらっしゃると思います。まちづくりの取り組みの一つとして、本渡地域でもフットパスができればステキだなあ…と考えています。【濱】

編集・発行

本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部
まちづくり支援課

〒863-0023
熊本県天草市中央新町15番7号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-23-1999

E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp